



福島川水系流域治水プロジェクト

福島川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、福島川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



危機管理型水位計設置

■被害対象を減少させるための対策

※今後、関係機関と連携し、対策検討

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

[リスク情報の提供・充実]

- ・ICTを活用した情報提供の強化 等
- ・洪水浸水想定区域図のデータ提供 等
- ・ため池マップの周知 等
- ・マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等
- ・水位計・監視カメラ等の設置 等
- ・水位情報等の提供 等

[防災・避難体制の強化]

- ・要配慮者を考慮した避難誘導の計画策定支援 等
- ・防災土の養成及び出前講座の実施 等
- ・重要水防箇所の見直し 等

[防災学習・啓発の推進]

- ・ハザードマップを活用した防災訓練等の実施・支援 等
- ・教育機関と連携した防災教育の推進 等
- ・防災の日、防災週間における防災啓発
- ・自主防災組織等への水防災教育の推進

[早期復旧・復興への備え]

- ・樋門や排水機場等の既存施設の操作の検証 等
- ・水防資機材の保有状況の確認・見直し

■グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf150】

福島川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 福島川では、本支川の流域全体を国、県、串間市が一体となって、以下の手順で「流域治水プロジェクト」を推進する。
- 【短期】洪水氾濫による浸水被害のあった箇所や被害の生じる恐れのある箇所において、流下能力の向上を図るため、河道掘削や樹木伐採を集中的に実施する。
- 【中期】市街地平野部での流下能力不足解消、氾濫対策のため、河川改修や頭首工改修を実施する。
また、ほ場整備により雨水貯留機能の向上を図る。
- 【中長期】河川では堤防強化を、山地部では、治山事業、森林整備を実施し、流域全体の安定度向上を図る。
また、ハザードマップ等を活用した防災訓練、ICTを活用した情報提供を図るなど、防災力の向上及び避難体制の強化を図り、流域内の被害軽減を目指す。

■河川対策 (約 28億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県、串間市	樹木伐採、河道掘削 等		
		宮崎県		河川改修(堤防・護岸整備) 等	
		串間市		頭首工改修	
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎県	排水路の整備		
				ほ場整備	
	高潮、地震・津波対策	宮崎県			堤防強化 等
			樋門ゲートの無動力化		
	森林の整備・保全、治山施設の整備	宮崎南部森林管理署、 宮崎県、森林整備センター			保水機能を発揮できる森林整備の推進
					治山施設整備による土砂流出抑制対策
被害対象を減少させるための対策	今後、関係機関と連携し、対策検討				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	宮崎県、宮崎地方気象台、串間市			ICTを活用した情報提供の強化 等
		宮崎県、串間市			洪水浸水想定区域図のデータ提供 等
		宮崎県、串間市			ため池マップの周知、ため池ハザードマップの周知 等
		宮崎県、串間市			洪水ハザードマップの見直し、周知 等
		宮崎県、串間市			マイ防災マップ、マイタイムラインづくりの推進 等
		宮崎県、宮崎地方気象台、串間市	水位計、監視カメラ等の設置 等		
		宮崎県、宮崎地方気象台、串間市			水位情報等の提供 等
	防災・避難体制の強化	宮崎県、宮崎地方気象台、串間市			要配慮者を考慮した避難誘導の計画策定支援 等
		宮崎県、宮崎地方気象台、串間市			防災士の養成及び出前講座の実施 等
		宮崎県、宮崎地方気象台、串間市			関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化 等
		宮崎県、串間市			重要水防箇所の見直し 等
	防災学習・啓発の推進	宮崎県、宮崎地方気象台、串間市			ハザードマップを活用した防災訓練等の実施、支援 等
		宮崎県、宮崎地方気象台、串間市			教育機関と連携した防災教育の促進 等
		宮崎県、串間市、宮崎地方気象台			防災の日、防災週間ににおける防災啓発 等
		宮崎県、串間市、宮崎地方気象台			自主防災組織等への水防災教育の推進 等
	早期復旧・復興への備え	宮崎県、串間市			施設の耐水化、非常用発電等の整備促進 等
		宮崎県、串間市			樋門や排水機場等の既存施設を有効に活用するための操作の検証 等
		宮崎県			水防資機材の保有状況の確認、見直し
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然かわづくり	宮崎県			生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出
					河川景観の保全・創出
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、串間市、宮崎南部森林管理署、 森林整備センター			湿地等の貴重な自然環境の保全
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県、串間市			生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、串間市			川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持
					水辺空間のレジャー等の利用
					小中学生や任意団体等による環境学習

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

福島川水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和4年度

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 水害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：12/12 ■取組率：100%

【概要】

○は場整備により区画の狭小な水田を区画拡大とともに、排水枠の設置や排水路の整備を実施した。
○次年度も引き続き施工していく。

塩屋原地区



2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：0/- ■取組率：0%

※関係機関と連携し、対策検討中

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：85/85 ■取組率：100%

【概要】

北方地区地域連携組織にて防災教育（防災に関する講話）を実施。



4. グリーンインフラ

■【実施数／対象項目数】：14/15 ■取組率：93%

【概要】

○地域の方や小学生と協働で福島川に住む水生生物の調査、水辺の環境調査を実施



福島川流域における対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

① 樹木の伐採・河道掘削による氾濫対策 【宮崎県串間土木事務所】

○福島川では、樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害のあった箇所や被害の生じる恐れのある箇所について、樹木伐採や掘削を実施する。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ ・減らすための対策	洪水氾濫対策	樹木伐採、河道掘削	宮崎県	赤色矢印		

② 樹木の伐採・河道掘削による氾濫対策

【串間市都市建設課】

○穂佐ヶ原川、倉掛川では、樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じる恐れのある箇所について、樹木伐採や掘削を実施する。また、堤防の低い箇所は掘削土砂を利用し嵩上げする。

福島川水系の普通河川【串間市管内】



対象河川	工区名等
穂佐ヶ原川	穂佐ヶ原地区
倉掛川	倉掛地区

穂佐ヶ原川【実施前】



倉掛川【実施前】



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ ・減らすための対策	洪水氾濫対策	樹木伐採、河道掘削	串間市	➡		

③ 天神川の河川改修による氾濫対策

【宮崎県串間土木事務所】

○天神川では、平成12年や平成30年など豪雨による洪水にみまわれ、市街地の平野部を中心に、浸水被害が発生した。このため、JR日南線鉄道橋から天神橋までの1.0km区間ににおいて、堤防・護岸整備を実施し、流下能力の向上を図る。

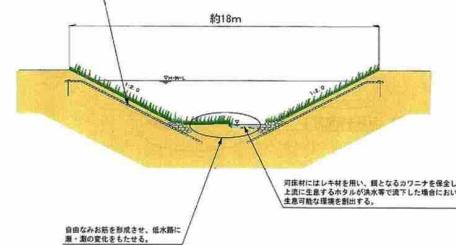
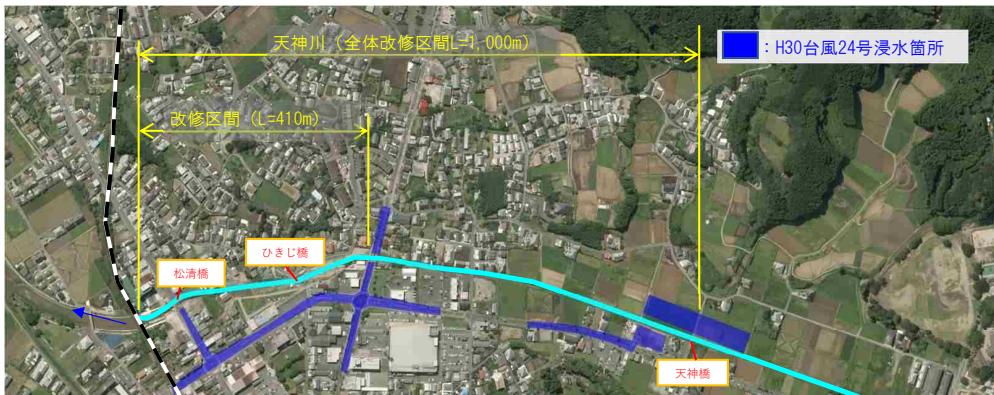


図 4.3 標準断面図（天神川）



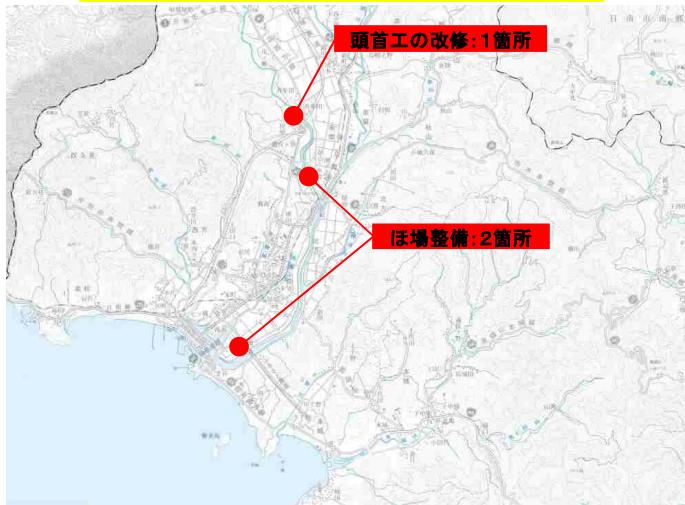
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川改修（堤防・護岸整備）	宮崎県	➡		

④ 農業農村整備事業による流域治水 【宮崎県南那珂農林振興局】

【農業農村整備事業を計画的に実施することで農業の多面的機能を発揮】

- ほ場整備により農地の区画拡大を実施する中で排水柵(ます)や排水路を整備し、**水田がもつ貯留機能を向上**
- 河川内にある頭首工を固定堰から可動堰にすることで河川流量を調節し、**氾濫被害を未然防止**

福島川水系 農業農村整備事業【位置図】



実施内容	受益面積	地区名
ほ場整備	86.0ha	塩屋原、大島堰北部
頭首工の改修	101.0ha	大島



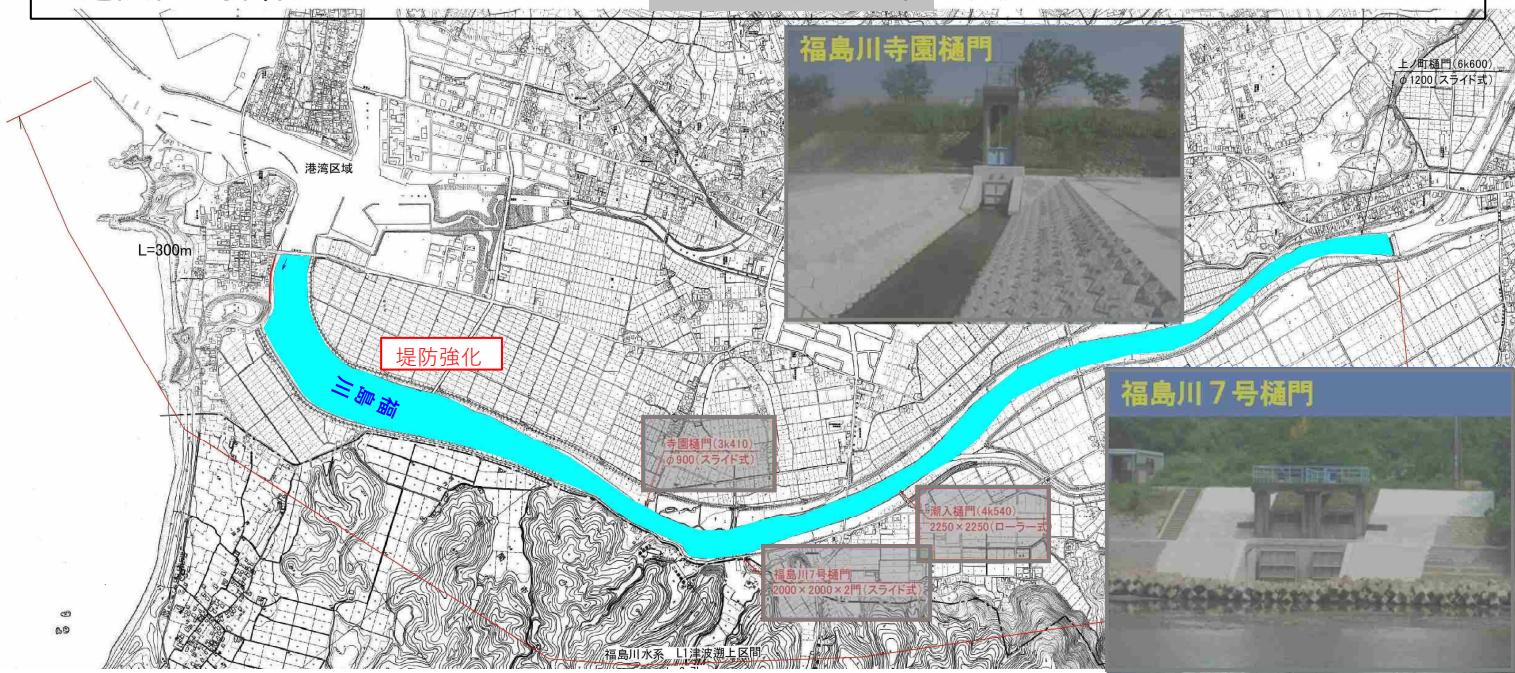
頭首工の改修

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	頭首工の改修	宮崎県	●	●	●
	流水の貯留機能の拡大	ほ場整備		●	●	●

⑤ 堤防の強化、樋門ゲートの無動力化 【宮崎県串間土木事務所】

○ 地震時の液状化や地盤沈降による堤防決壊防止のため、河川堤防の強化を図る。

○ 洪水や津波による浸水が想定される区間の樋門については、緊急時におけるゲート操作の危険性や操作遅れを回避するため、ゲートの無動力化を実施する。



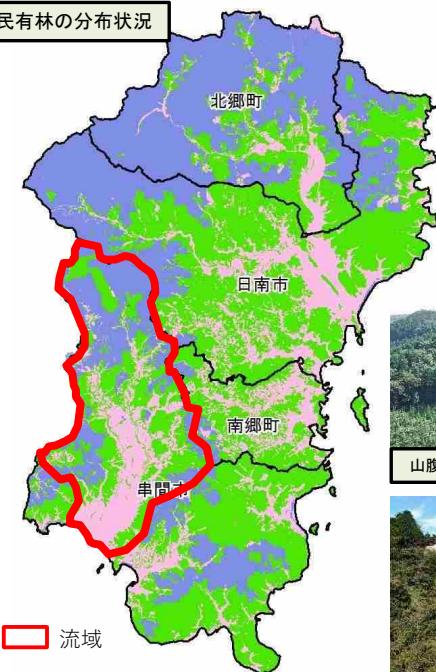
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	津波高潮耐震対策	堤防強化 樋門ゲートの無動力化	宮崎県	●	●	●

⑥ 民有林の森林整備・保全対策

【宮崎県南那珂農林振興局】

- 河川上流域（民有林）における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策のため、再造林、保育（下刈り、間伐等）、治山ダム、山腹工等を進める。

民有林の分布状況



民有林
国有林
森林外

実施前

荒廃森林（裸地化）

実施後

樹木成長 下層植生繁茂

着手前

山腹工による土砂流出防止対策

流木及び土砂を捕捉した治山ダム

完 成

保安林整備による根茎発達

【広渡川・市木川・福島川流域の森林の状況】（日南市、串間市）

森林面積： 65, 640ha

国有林： 28, 868 ha

民有林： 36, 772 ha

【広渡川・市木川・福島川流域の森林整備の実施状況】（令和3年度）

再造林： 360ha 溪間工 2箇所

下刈り： 2, 074ha 山腹工等 1箇所

除間伐： 97ha

【流域治水への事業効果等】 (保水機能効果)

荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。

(防災・減災効果)

間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。

伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保全機能の低下を防止する。

治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備（再造林、下刈り、間伐等） 治山事業（治山ダム、山腹工等）	宮崎県			

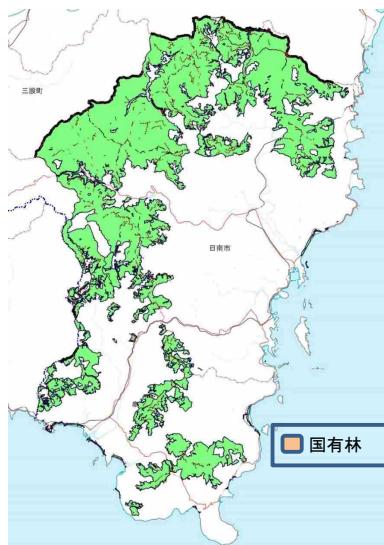
⑦ 国有林の森林の整備・保全対策

【宮崎南部森林管理署】

- 日南・串間地区には、2.9万haの国有林が存在し、主に広渡川、福島川等の中・上流域に位置しており、山地災害防止機能や水源涵養機能等公益的機能の適切な発揮に向けた森林整備が重要。

- 植林・間伐等の森林整備による災害に強い森林づくりや治山事業による土砂流出防止対策等を推進する。

日南・串間地区（広渡川、市木川、福島川等）の国有林の分布状況



間伐等の適切な森林整備による健全な森林づくりを実施

【植付】



【下刈】



【間伐】



土砂の流出を防止する治山ダムの設置や崩壊地の復旧を実施

【渓間工】



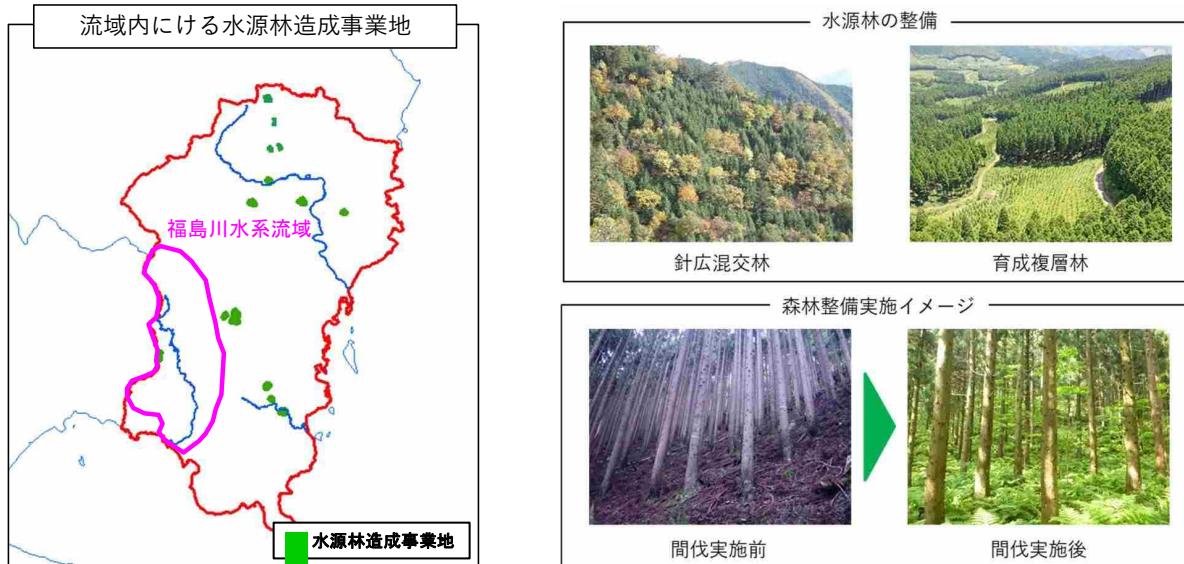
【山腹工】



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	・森林整備事業（植付、下刈、間伐等） ・治山事業（渓間工、山腹工等）	宮崎南部森林管理署			

⑧ 水源林造成事業による森林整備・保全対策

- 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によって適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業である。
- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- 広渡川、市木川、福島川流域における水源林造成事業地は、14箇所（森林面積 約160ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していく。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	水源林造成事業	森林研究・整備機構 森林整備センター			

⑨ 排水路の整備

【串間市上下水道課】

木代都市下水路より上流部の既設水路等を整備することで流域内の排水機能を向上させ、浸水エリアへの流入を軽減する。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	排水路の整備	串間市			

福島川流域における対策内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策内容

被害の軽減、早期復旧
・復興のための対策

① ICTを活用した洪水警報、大雨警報、土砂災害警戒情報等の提供 【宮崎地方気象台】

○「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善。

改善（イメージ）



指定河川洪水予報
（各都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水中により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあることに対する警戒）

- 指定河川洪水予報
- 水位情報(川の防災情報)

洪水警報の危険度分布

高	危険度	低
■	極めて危険	
■	非常に危険【警戒レベル4相当】	
■	警戒【警戒レベル3相当】	
■	注意【警戒レベル2相当】	
■	今後の情報等に留意	

本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度分布
（堤防越水によって南沿い支川・下水道からの排水ができないことで発生する内水氾濫による地盤被災のおそれがあると認められるときに発表。）

- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】



■短期

「危険度分布」に本川の増水に起因する内水氾濫の危険度も表示することで、住民の自主的な避難の判断や、市町村のより適切な避難情報の発令につながる。

■中期、中長期

出前講座、各種会議等を利用し、利活用や避難について周知啓発を行う。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	ICTを活用した防災情報の提供	宮崎地方気象台			

① 水害リスク情報の提供・充実

【宮崎県串間土木事務所】

- 作成した洪水浸水想定区域図データの提供。
- 洪水予報河川・水位周知河川以外の中小河川についても、浸水想定図を作成し、水害リスク情報空白地帯を解消していく。
- 不動産関係団体等が開催する研修会において、水害リスク情報の解説を実施していく。

不動産関係団体を対象とした研修会での水害リスク情報の解説



洪水浸水想定区域図のない水害リスク情報空白地帯の解消

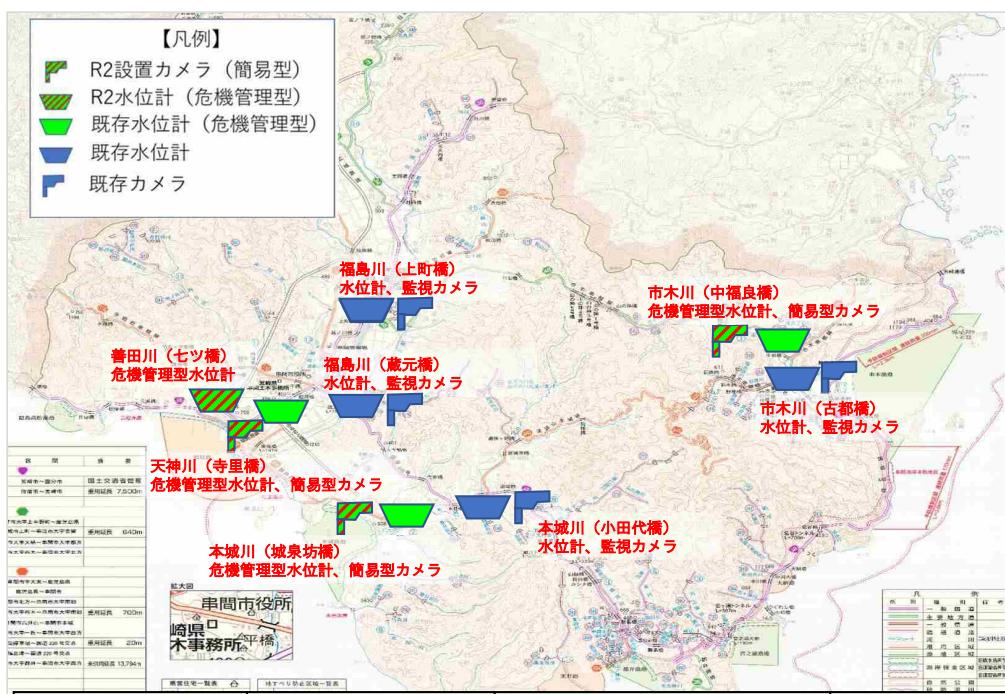


区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	洪水浸水想定図の作成・データ提供等	宮崎県			

② 水害リスク情報の提供

【宮崎県串間土木事務所】

- 洪水時の河川水位等の状況を把握するため、危機管理型水位計や簡易型監視カメラを設置し、住民の避難活動を支援する。



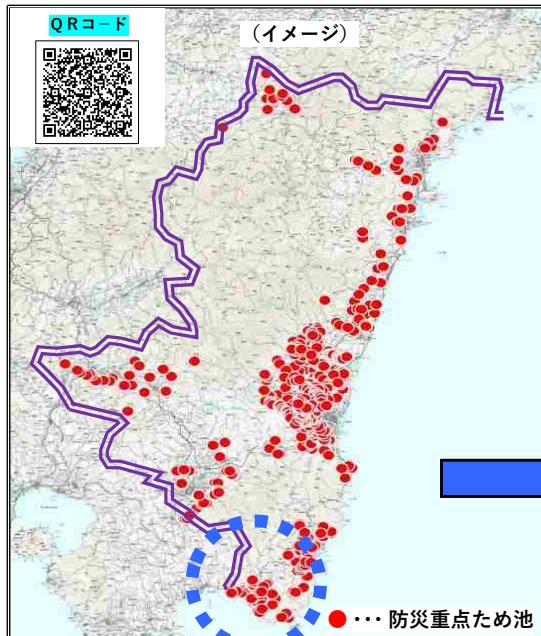
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	危機管理型水位計の設置、簡易型監視カメラ設置 水位情報の提供	宮崎県			

③ 農業用ため池マップの周知

【宮崎県南那珂農林振興局】

- 緊急時の迅速な避難行動につなげるため、県内の防災重点ため池マップの周知を図る。
- ため池マップには、ため池名、所在地、貯水量、緊急時の連絡先等を掲載する。

【農業用ため池マップ】



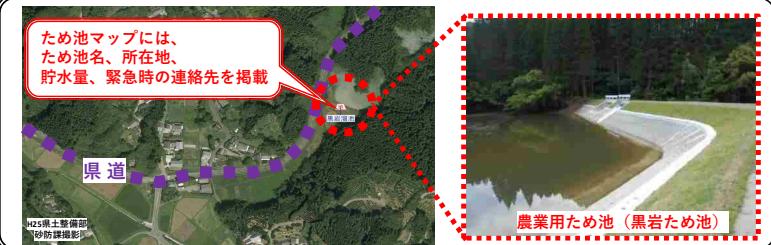
農業用ため池マップの公表について

【経緯】 平成30年7月豪雨では西日本を中心に多くのため池が決壊し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、今後のため池対策の進め方に基づく緊急時の迅速な避難行動につなげる対策のひとつとして、ため池の位置等を住民に知っていただくため、宮崎県内の防災重点ため池マップを作成。

【防災重点ため池とは】 決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

(令和4年3月末時点)

農業用ため池の総数	うち、防災重点ため池
657箇所	424箇所

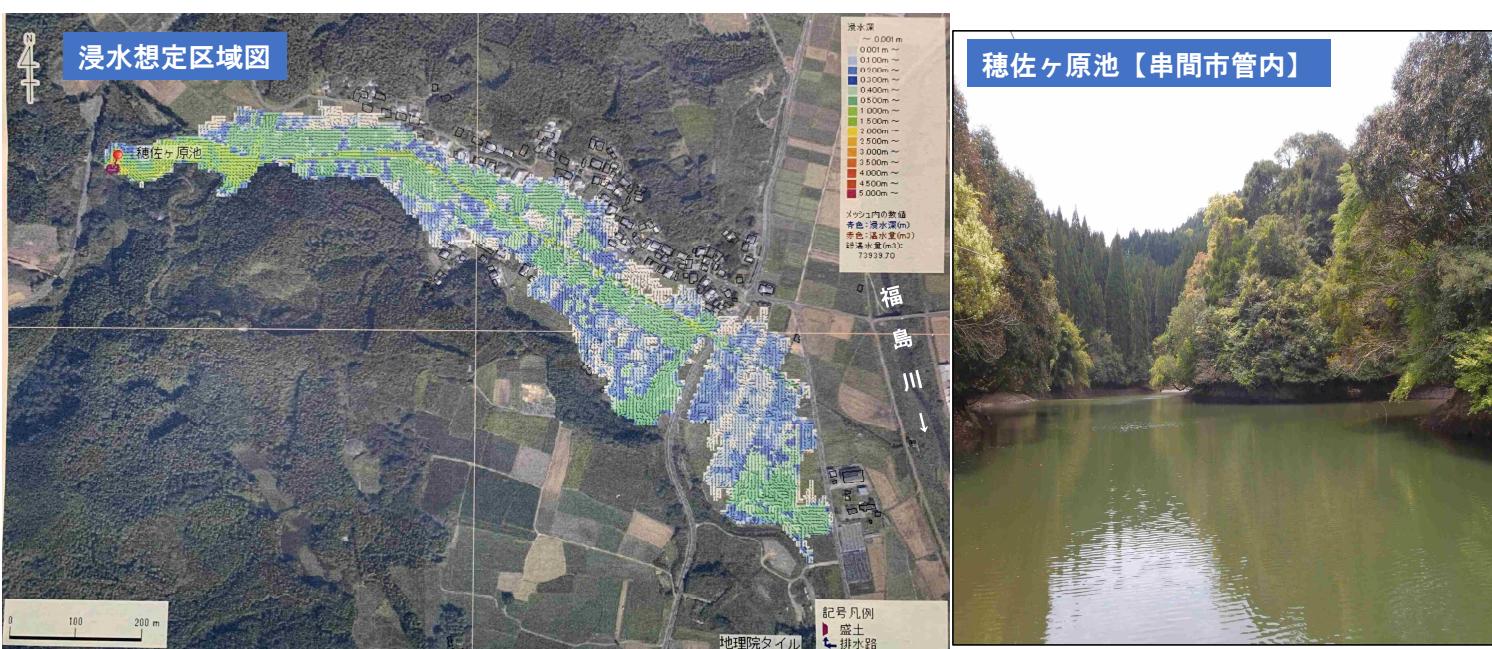


区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	農業用ため池マップの周知	宮崎県			

④ ため池ハザードマップの周知

【串間市農地水産林政課】

- 地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして周知し、災害時の円滑な避難を図る。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	ため池ハザードマップの周知	串間市			

⑤ 地域防災力の向上

- 防災士養成研修：災害時において最も重要な「自助・共助」を推進するため、地域防災の核となる防災士を養成している。
- 防災士出前講座：自主防災組織や自治会、学校や企業に防災士を講師として派遣する出前講座を実施し、地域の防災力を向上させている。

宮崎県防災士養成研修

・令和3年5月末現在の防災士数
 〈宮崎県〉 5,646名（人口10万人当たり526名）
 〈全国〉 211,330名（人口10万人当たり167名）

・防災士数の順位
 全国・・・14位 九州・・・3位（福岡、大分に次ぐ）
 ※人口10万人比では、全国6位

防災士の推移（累計）



宮崎県防災士出前講座

・養成してきた防災士を活用し、自治会や自主防災組織等で実施する研修等に防災士を講師として派遣する。



出前講座の主な内容

- 地震・津波についての基礎講座
- 気象・火山についての基礎講座
- 家具固定に関する講座・実習
- 地域の地図を用いたワークショップ
- 避難所運営ゲーム等を用いた防災学習

(出前講座ポスター)

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災・避難体制の強化	防災士の養成及び出前講座の実施	宮崎県			

⑥ 福島川流域における避難体制等の強化 【串間市危機管理課】

- ハザードマップ等を活用した防災訓練や啓発などソフト対策の充実により地域の防災力の向上及び避難体制の強化を図っていく。



ハザードマップを活用した具体的な防災訓練



要配慮者を考慮した避難誘導の計画策定支援

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	○防災・避難体制の強化 ○防災学習・啓発の推進	水害や土砂災害の防災教室の実施 有識者による出前講座、防災学習の実施 「自助・共助・公助による防災」への意識改革 ハザードマップを活用した具体的な防災訓練 安全な避難路の選定や維持 要配慮者を考慮した避難誘導の計画策定支援	串間市			

○防災の日や防災週間において、防災啓発を実施、継続していく。

- ▶ 防災の日（5月第4日曜日）：普及・啓発事業
- ▶ 防災週間（8月30日～9月5日）：普及・啓発事業

令和3年度宮崎県防災の日（令和3年度は5/23）における啓発事業

・自助・共助への意識向上のため、テレビ、ラジオCM、ポスター、チラシ等により風水害への備えの啓発について実施した。

・改正灾害対策基本法による新しい避難情報についても啓発した。



(防災の日チラシ表)



(防災の日チラシ裏)

令和2年度防災週間における啓発事業

・台風シーズン前に多様な避難のあり方と避難における注意点等を啓発した。

・R2年度は新型コロナウイルス感染症への対応もあり、より避難の理解力向上が求められたことから、防災週間だけではなく、前倒しし、8月12日からCM等を放映した。

『災害』と『感染』。2つのリスクから命を守るためにできること

災害が差し迫った時、あなたはいつ、どこに避難しますか？

避難先は小中学校などの避難所だけではありません

安心な避難行動のポイント

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習・啓発の推進	防災の日、防災週間における防災啓発	宮崎県			

⑧ eラーニングによる水防災教育の推進

【宮崎地方気象台】

○自ら判断して避難できる人材育成を目的として、学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進するため、台風・豪雨から「自らの命を自ら守る」基本的な知識とるべき行動について、他人と接触せずに学べる教材を提供。



eラーニング教材

「大雨のときにどう逃げる」

あなたの命、あなたの大切な命を守るために

台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識とるべき行動を学びます

【学習の流れ】動画教材で身についた知識を、実習や意見交換で、いざという時に使えるようにしてゆきます

自らの命は自らが守る
基本的な知識を学ぶ

動画教材を視聴（約15分×動画5つ）

- 避難を行うためのポイントを理解しよう
- あなたの家の災害リスクを知ろう
- 大雨の時の避難先
- 「避難行動」を考えよう
- あなたの避難のタイミングを考えよう

自宅の災害リスク
自分の避難行動を整理

ワークシートに記入（概ね30分）

思い込みによる誤解や
疑問・不安を解消

みんなと意見交換（概ね30～40分）



← WEB会議を
使って意見交換
できるよう、使い方
の参考資料も付属

アドレス：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jma-el/dounigeru.html>

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習・啓発の推進	e ラーニングによる水防災教育の推進	気象庁			